

## ブリティッシュヒルズ英語研修報告

本年度も8月2日から4日の日程でブリティッシュヒルズ英語研修が行なわれました。普段から英語の学習に熱心で国際志向の強い20名の生徒が参加しました。

英国の住居は、そこに集う人々の地位や交流目的に配慮した椅子やテーブルの配置が特徴で、調度品もオーク材で統一され、格式高い雰囲気醸し出しています。日本の現代建築は書院造りが原型と言われていますが、木造と石造の違い以上に住居に求める機能性や趣向の違いが興味深いです。テレビドラマの「花より男子」がマナーハウス内で撮影されたことは有名です。ブリティッシュヒルズ内の9つの建物は英国から移築されたものです。

英国に行ったら是非立ち寄りしたいのがパブです。パブは単なる酒場ではなく、人々の社交の場としての役割を果たしています。ブリティッシュヒルズのパブには18才未満は教員の同伴がないと入れない規則になっていますが、ノンアルコールのカクテルが楽しめます。

日本の茶の湯の英国版であるアフタヌーンティーは礼儀作法や調度品、会話の内容など、広範囲の教養が問われます。両者とも客人をもてなすことに重きが置かれています。さて、午後のお茶に欠かせないお菓子がスコーンです。授業ではスコーン作りを体験しました。現地の先生に丁寧に作り方を習うのですが、勿論全て英語です。失敗した人はいなかったため、皆さんよく英語での指示を理解していました。

英国人のスポーツ好きはよく知られています。ラグビー、サッカー、テニスなど、日本でも人気のものの他に、クリケットが国民的スポーツです。クリケットは今の季節、夏に行われるそうです。日本ではほとんど馴染みのない競技ですが、道具やルールの説明からはじめ、最後は2チームに別れて試合をすることができました。

体験型の講座の他には、形容詞に関するハイレベルな文法の授業や文化とマナーについて考える講座など、大学での授業を先取りするようなアカデミックな内容のものもありました。

夕食後には自由時間があり、パブに出掛けて飲み物を楽しんだり、ジムで卓球やバドミントンで盛り上がり、起床から就寝まで目一杯の2泊3日でした。

